

基本方針

小学校から中学校までの9年間を見通しながら、学年にとらわれず柔軟に学習を進めていきます。
 子どもの発達や日常生活に合わせて、自ら考え、探究する学びを大切にします。
 また、基礎・基本をしっかりと身に付けたうえで、これまでの学習をもとに考えたり、友達と話し合ったりしながら学びを深めていきます。
 その中で、「分かる楽しさ」「できる喜び」を実感できる算数の授業をめざします。

背景／課題

子どもたちの学びの様子にはさまざまな違いがあり、算数の理解の仕方にも幅が見られます。特に、計算の力や、小数、分数、文章題の読み取りや図を使った表現、式や言葉で考えを説明する力などについては、一人ひとりの学びに応じた丁寧な支援が大切だと考えています。

3～5年生では、「どのくらい増えたか」「どちらが何倍か」といった、「変わり方」や「数量の関係」を考える学習が本格的に始まり、内容がぐっと難しくなります。
 本校では、子どもたちがこれらの考え方をしっかりと身に付けられるよう、図や表を使って視覚的にとらえる学習を大切にしています。
 数直線や図を用いて考えることで、小数や分数が出てくる場面でも、数量の関係を正しく理解できる力を育てます。
 そのために、これまでに学習してきた、かけ算、わり算、何倍かを考える学習などの学びをつなげながら、内容の並べ方や学習時間の配分を工夫し、ステップアップできるよう指導していきます。

効果検証

- 図を自発的に使う児童の増加
- 図を適切に使い数量の関係を正しくとらえられる児童の増加。
- 「算数ができる」と答える児童の増加。(アンケート)

| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 |
|------------|---|--|---|---|---|---|
| 数と計算・変化と関係 | <p>たし算とひき算：順序、順序数、加減の意味の拡張</p> | <p>かけ算：倍概念の基礎（7H圧縮）</p> <p>分数：倍と分数を用いた数量関係</p> <p>「基準量としての1」について重点的に指導</p> | <p>わり算：除法の意味</p> <p>分数とわり算：等分除と分数の意味の関連付け</p> <p>「分数」「倍の計算」について重点的に指導</p> | <p>小数のかけ算とわり算：小数の意味の拡張</p> <p>倍の見方：除法の意味の拡張（倍の計算）簡単な場合の割合について重点的に指導</p> | <p>小数のかけ算、わり算：小数をかける、わることの意味</p> <p>小数の倍：倍に関する基準量変換</p> <p>「単位量あたりの大きさ」「割合」について重点的に指導</p> | <p>分数の倍：分数倍を適用する問題</p> <p>比例と反比例</p> <p>実生活に即した割合について考察</p> |
| その他 | <p>9月 ← 何時何分（2H）</p> <p>3月 ← 何時何分・時刻と時間（2H）</p> | <p>12月 ← 長いものの長さとの測り方（7H）</p> | <p>3月 ← そろばん（2H）</p> | <p>5年のまとめ → 4月</p> | <p>6年の算数全体で約10時間圧縮する。</p> | |